

いっぽ だより



2021年度 No. 12

はじめのいっぽ

2022年3月31日

春の足音がすぐそこまで聞こえてきた今日この頃、皆様にはお変わりなくお過ごしでしょうか？

3月は子どもたちにとって、卒業や入学等でとても不安な時期です。そんな時、何と言っても家族の支えが必要です。お子さんに寄り添ってあげてください。いっぽでも気にかけておりますので、何かありましたらご相談ください。子どもたちの中には、いっぽに長く通所されていたお子さんもおり、卒業してゆくのは寂しい限りです。4月からは希望と不安を抱えた、新たなスタートを切りますが「ゆっくり・じっくり」そしていっぽつつ歩んでください。



また、いっぽにも新しい仲間が通所されますが一人ひとりに合わせた取り組みをゆっくり実践して行きたいと思っておりますので関係者の皆様には来年度もご指導とご協力をお願い致します。そして、わか子先生の夢でした「結」でのもう一つの事業は、お年寄りと子どもが集う共生社会の実現です。それに途別の倉庫の利用方法として「子どもたちの遊び場と子どもたちが社会に出てからの受け皿の就労支援」ですが、どんなことが出来るのか今年1年をかけて考えて行きますので皆さんも、これはと思うアイデアがありましたら教えてください。

最後に子どもたちがゆっくり安心して過ごせる環境を作り上げることによって、いっぽに来てよかった、またいっぽに行きたいと思ってもらえる居場所づくりに取り組んでいきます。



代表 石橋 和久

日 時	行 事
4月 6日 (水)	春休み最終日
4月 7日 (木)	進・入学式
4月18日 (月)	定例会議
4月29日 (金)	GW
5月 5日 (水)	GW 最終日
4月前半	いっぽ進学・入学おめでとう式

小中学生編



わか子先生「今年の味噌、失敗したかも・・・」と生前つぶやいていたことを思い出し、みそ作りの初心に帰り、何が原因なのかをつきとめました！

原因は、“納豆を食べた人が作ったこと”でした。「みそ作りの日の朝、絶対に納豆を食べてはいけない」とのこと。毎朝（365日）納豆を食べている私が原因だったとは・・・。

さて、前々日から大豆をうるかし、吹きこぼれないように、アクをとりながらゆっくり煮て、親指と薬指でつぶせるくらい柔らかくなりました。すぐに熱いうちにすりつぶして塩・麴と合わせれば、人間が出来ることはこれでおしまい。あとは1年くらい自然に熟成されるのを待つだけです。

「わか子せんせ～！今年の味噌は美味しくできるはずだよ～！」

記：山本寿果



避難訓練



3月11日東日本大震災から11年目、みんなで避難訓練を実施しました。「地震だー！」のスタッフの掛け声にすかさず身を隠す子どもたち、揺れが収まり上着を着て外へ避難し点呼です。流れをみんなで確認しスムーズに3分27秒で点呼まで完了しました。その後は、洪水避難に早変わり。整列して隣の石藤さんの3階建ての建物までの避難経路、もうひとつの避難先「ダッジウエストジャパン」までの経路を歩いて確認しました。避難備蓄品の確認は、スタッフの宿題として次の日実施しました。

人形劇団みみず公演

3月30日、2年ぶりの清流の里福祉センターで、人形劇団みみずによる公演が行われました。低学年などは初めてのお友だちも多く期待が膨れ上がります。今回のお話はどんなお話でしょう？

当日、劇が始まるやいなや子どもたちはいっきに劇に引きずり込まれます。劇の進行とともに変化する子どもたちの表情はとても生き生きとしてました。



ひつじ組 編 (未就学児)



3月は、ひな祭りからスタートです。この日に向けて、お雛様に関するいろんな制作をしてきました。幼児さんたちにとって「ひな祭り」とはどんなものなのかを理解するのは難しいかもしれません。成長に従い思い出の中に残る「ひな祭り」は日本の伝統文化の継承・季節感だけでなく、心の栄養としても育ててほしいなあと願っています。



3月半ばに新しいお友達“さなちゃん”が仲間入りしました。人懐っこくニコニコ笑顔がとっても可愛い女の子。すぐにいっぱいのお友達とも打ち解け、毎日楽しい時間を過ごしています。

ここ最近のひつじ組さんはというと・・・

とにかくみんなと遊ぶことが大好き。それぞれが違う遊びをしていますが、一人、二人…とお友達が寄ってきます。そして、最後にはみんなと同じ遊びを共有しているんです。遊びに限らず、今までは気の済むまで自分のことに夢中だったお友達も周りの様子に気付いて「やりたーい」と同じ目的に向かって過ごす時間が格段と増え、仲間意識がより一層芽生えてきています。順番におもちゃを使ったり、先生の話聞いて反応したり、小さいながらも自分たちで考え日々成長している子ども達です。

そんなひつじ組のお友達も、4月からは幼稚園・保育園・小学校とそれぞれの道に進んでいきます。言葉がなかなかでなかったり、座ってられなかったり、自由気ままに過ごしていた頃が懐かしい程、今ではお話がとっても上手になり、毎日見通しをもって過ごすことができるようになりました。これから大きな集団に入り、また一つ新しい壁にぶつかるかもしれませんが、それぞれのペースでゆっくと、そして楽しみながら過ごして行ってほしいと思います。





綱渡りチャレンジャーたち

東屋から滑り台の一番上までロープを張り、綱渡りにチャレンジ！ 去年よりもチャレンジする子が増えて行列ができるほどの人気でした。スタート時の緊張感いっぱいの表情と、達成したときの溢れんばかりの笑顔、この差が大きければ大きいほど得ることが出来る自信が、次のチャレンジのエネルギーですね。そんな子どもたちの勇姿を見ていると全員分の写真を載せてしまいました。ぜひ見てやってください。

